

保養とアートの宿と花いけ

Message

大黒屋は1990年ごろより「保養とアートの宿」をコンセプトに掲げ、温泉文化と芸術文化を融合させた温泉旅館として歩みを続けております。自然に囲まれたこの地を訪れる皆様に「癒し」と「美」を提供する場として、宿の各所に様々なアートや自然と触れ合う空間を設けております。その中でも密かな人気スポットとなっているのが、サロン横の「花いけコーナー」です。気に入った花と花器をご自身で選び、お部屋で楽しんでいたきたいとの思いから、20年ほど前に設置しました。コーナーには、近隣の山や川原から採取した野の花や、スタッフが自宅の庭で育てた花々が並び、花器は大黒屋で展示会を開催した作家の器を揃えています。お客様には自分流の「花いけ」を楽しんでいただき、自然の春夏秋冬を感じながら季節の移ろいを実感していただければと願っております。お部屋に飾るために花を選んでいるお客様が笑顔でお戻りになる姿を見るたび、こちらまで嬉しくなります。花はただ眺めているだけでも心が和みますし、花を選ぶ時も自然と笑顔がこぼれる心弾むひとときです。

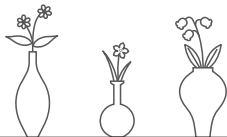
旅館内には多くの花を飾る場所があるため、スタッフ全員が花に対する心構えを深められるよう、2020年より花道家の上野雄次さんを講師としてお招きし、年に4～6回「花いけ教室」を開催しています。もともと「花いけ」に縁のなかったスタッフの最初の花いけは、単に花器に花を挿すだけのものでしたが、上野さんの懇切丁寧で熱心な指導を受ける中で回を重ねるごとに上達し、花器にも興味を持つようになりました。興味を持つことでさらに上手になりたいという気持ちが芽生え、現在では器の展示会で花器に花をいけたり、客室の床の間やテーブルにもスタッフ自らが積極的に花をいけるようになり、その成果が随所に表れています。

上野さんは教室で、花への向き合い方について次のように話されます。「花をいけることは自然と人との

対話であると捉え、花をいける際には、花の育つ環境やその姿・由来を理解し、本能的に惹かれる花を選ぶ感覚を大切にすること。また、花をいける場所の光の向きも意識するように」と。また、「植物は光を求めて成長するため、その特性を取り入れた花いけは自然の摂理に沿い、見る人に心地よさをもたらします」とも説かれます。教室で使う花材は、大黒屋裏手の山や近辺で採取した野の花を使用します。上野さんは「山で感動した景色を切り取り、作品に落とし込む」ために自ら山採りをすることに意義を見出し、「自然界で育っていた表情を変えず、重力に逆らう美しさを可視化する」ことを大切にしています。こうした姿勢を体現できるよう、教室では実践と講評を繰り返して行っています。

花をいける行為を通して、日本人の美意識を呼び覚ますとともに、自分だけでなく他者に喜んでもらう心を養う場としても意義を持っていると感じております。お客様に喜んでいただけることで、周りを整え、細やかな気配りの心を育んでいきたいと考えております。この「花いけ教室」は今後も継続する予定ですので、ご来館の際にはスタッフの腕前をご覧になり、どうぞご自身で評価☆をお楽しみください。また、不定期ではありますが、お客様向けの「花いけ教室」も開催いたしますので、ご興味のある方はスタッフまでお声がけください。

講師の上野さんは2025年3月に大黒屋サロンで個展を開催する予定です。上野さんが追求する「花いけ」の哲学と独自の感性が表現され、自然と人間の結びつきを再確認できる貴重な場となることを願っております。3月の展覧会では、季節的に緑も少なく花も限られる中で、空間がどのような「花いけ」になるのかスタッフ一同心より楽しみにしております。みなさまもどうぞご期待くださいませ。



Newspaper
January-June 2025

Exhibition

大黒屋コレクション展

版画 村井 正誠 展

花 上野 雄次 展

漆 杉田 明彦 展

絵画 山本 雄基 展

陶芸 生形 由香 展

展覧会



Event 行事

桜の開花

大黒屋の桜は4月中旬頃が一番の見頃と言われている。お住まいの地域よりも少し遅れての満開になりますので、桜を楽しめなかったという方は是非お越しください。また、大黒屋は桜の季節になると篝火を焚いて夜桜鑑賞会を開催しております。春の心地好い風を感じながら桜を楽しんでみませんか？

Music

音を楽しむ会

毎月26日

睦月	如月	弥生	卯月	皀月	水無月
佐藤通弘 (三味線)	休演	猪村浩之 (テノール)	西田真以 (ソプラノ)	三遊亭兼好 (落語)	川口晃平 (能)
気迫あふれる佐藤親子の三味線は、聴く人の心を熱くします。その力強い音色とは対照的に、海寶さんの箏は優美で魅力的。三味線と箏が織りなす静と動の音色をぜひご堪能ください。		情熱的な歌声が魅力の猪村さんと、清らかなピアノの大坪さん。今回14回目の出演となり、長年築き上げてきたお二人の絶妙なコンビネーション。壮大なテノールと繊細なピアノが織りなす世界観を、ぜひお楽しみください。	ミラノ・ヴェルディ音楽院声楽学科を満点首席で卒業後、イタリア各地のオペラや演奏会に出演。帰国後も全国で日本人離れした伸びやかで表現力豊かな歌声で聴く人を魅了しています。	初出演。1998年に三遊亭好楽に入門し、2008年に真打昇進。軽妙な語り口と百演目を超える豊富な持ちネタで観客を魅了。落語専門誌での執筆や数々の受賞歴を持ち、独演会やメディア出演など幅広く活躍されています。	今回で3回目の出演。シテ方親世流能楽師。五十六世梅若玄祥に入門。「降魔」で初舞台を踏み、独立後は「石橋」「狸々乱」「道成寺」などを披露。能の物語を体験しながら、その奥深さを大黒屋の舞台でお楽しみください。

《温泉排湯利用ヒートポンプ》

2024年夏より、温泉排湯を活用する工事を開始しました。温泉利用後の排湯熱をヒートポンプで回収し、床暖房や給湯に再利用するシステムを導入。2024年末から順次稼働予定です。これによりエネルギー効率を高め、環境負荷を軽減しながら快適な宿泊環境を提供します。温泉地ならではの循環型エネルギー活用を今後も推進してまいります。

《インスタグラムを要チェック!》

最新の展覧会情報や四季折々の板室の風景をインスタグラムで発信しています。アカウントをお持ちの方は是非フォローお待ちしております。

板室温泉大黒屋
保養とアートの宿



板室温泉 大黒屋
Itamuro Onsen Daikokuya

大黒屋「陽だまり通信」は年2回発行しています。

板室温泉大黒屋

〒325-0111 栃木県那須塩原市板室856番地
E-mail: onsen@itamuro-daikokuya.com

ご予約 HPからご予約いただけます。

TEL 0287-69-0226

FAX 0287-69-0497

www.itamuro-daikokuya.com

1月	
大黒屋コレクション展 January 18-27	
不定期開催の大黒屋コレクション展。 展示期間は短いですが、菅木志雄の 作品をはじめ、近年展示した作家の 作品を主に展示いたします。	
01 水 元旦	↑ 休館日 ↓
02 木	
03 金	
04 土	
05 日 お餅つきの日	
06 月	
07 火	
08 水	
09 木	
10 金	
11 土	↑ 休館日 ↓
12 日	
13 月 成人の日 / 瀬沼健太郎展 最終日	
14 火	
15 水	
16 木	
17 金	
18 土 大黒屋コレクション展 初日	
19 日	
20 月	
21 火	↑ 休館日 ↓
22 水	
23 木	
24 金	
25 土	
26 日 音を楽しむ会	
27 月 大黒屋コレクション展 最終日	
28 火	
29 水	
30 木	
31 金	

2月	
版画 村井 正誠 展 February 01-24	
日本の抽象絵画を代表する村井 正誠さんの版画作品を展示。大胆な 構図と温かみのある色彩が印象的 で、主に「人間」をテーマに描かれた その作品は、戦後のモダンアートにも 大きな影響を与えました。	
01 土 村井正誠展 初日	↑ 休館日 ↓
02 日	
03 月	
04 火	
05 水 お餅つきの日	
06 木	
07 金	
08 土	
09 日	
10 月	
11 火 建国記念の日	↑ 休館日 ↓
12 水	
13 木	
14 金	
15 土	
16 日	
17 月	
18 火	
19 水	
20 木	
21 金	↑ 休館日 ↓
22 土	
23 日 天皇誕生日	
24 月 振替休日 / 村井正誠展 最終日	
25 火	
26 水	
27 木	
28 金	

3月	
花 上野 雄次 展 March 07-30	
花道家の上野雄次さんによる初個展。 独自のいけばなスタイルで、世界中の イベントや美術館・ギャラリーで「花 いけ」やパフォーマンスを行っています。 見る者に新しい視点を提供する「花 いけ」が展示されます。	
01 土	↑ 休館日 ↓
02 日	
03 月	
04 火	
05 水	
06 木	
07 金 上野雄次展 初日	
08 土	
09 日	
10 月	
11 火	↑ 休館日 ↓
12 水	
13 木	
14 金	
15 土	
16 日	
17 月	
18 火	
19 水	
20 木 春分の日	
21 金	↑ 休館日 ↓
22 土	
23 日	
24 月	
25 火	
26 水 音を楽しむ会	
27 木	
28 金	
29 土	
30 日 上野雄次展 最終日	
31 月	休館日

4月	
漆 杉田 明彦 展 April 04-May 06	
杉田明彦さんの漆器は、古物からイン スピレーションを受け、磨き跡の残る マットな質感が特徴です。伝統を感じ させながらも、現代生活に溶け込む 洗練されたデザインが魅力で4年ぶり 2回目の個展となります。	
01 火	↑ 休館日 ↓
02 水	
03 木	
04 金 杉田明彦展 初日	
05 土 お餅つきの日	
06 日	
07 月	
08 火	
09 水	
10 木	
11 金	↑ 休館日 ↓
12 土	
13 日	
14 月	
15 火	
16 水	
17 木	
18 金	
19 土	
20 日	
21 月	↑ 休館日 ↓
22 火	
23 水	
24 木	
25 金	
26 土 音を楽しむ会	
27 日	
28 月	
29 火 昭和の日	
30 水	

5月	
絵画 山本 雄基 展 May 09-June 02	
山本雄基さんは、透明な層に円を描き、 それを重ねることで平面に奥行きと 時間的な重なりを表現しています。 繊細な技法を駆使した作品は、視覚 的な広がりや深みを感じさせ、今回で 8回目の個展です。	
01 木	↑ 休館日 ↓
02 金	
03 土 憲法記念日	
04 日 みどりの日	
05 月 こどもの日 / お餅つきの日	
06 火 振替休日 / 杉田明彦展 最終日	
07 水	
08 木	
09 金 山本雄基展 初日	
10 土	
11 日	↑ 休館日 ↓
12 月	
13 火	
14 水	
15 木	
16 金	
17 土	
18 日	
19 月	
20 火	
21 水	↑ 休館日 ↓
22 木	
23 金	
24 土	
25 日	
26 月 音を楽しむ会	
27 火	
28 水	
29 木	
30 金	
31 土	

6月	
陶芸 生形 由香 展 June 06-30	
栃木県益子町で作陶する生形由香 さんの作品は、東南アジアやインド の模様を参考にした繊細な手彫り 印刻が特徴です。釉薬の流れが生み 出す美しいグラデーションが、作品に 深みと優雅さを与えています。	
01 日	↑ 休館日 ↓
02 月 山本雄基展 最終日	
03 火	
04 水	
05 木	
06 金 生形由香展 初日	
07 土	
08 日	
09 月	
10 火	
11 水	↑ 休館日 ↓
12 木	
13 金	
14 土	
15 日	
16 月	
17 火	
18 水	
19 木	
20 金	
21 土	↑ 休館日 ↓
22 日	
23 月	
24 火	
25 水	
26 木 音を楽しむ会	
27 金	
28 土	
29 日	
30 月 生形由香展 最終日	